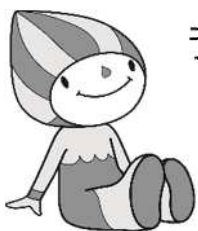


ランピースキン病ワクチン接種県由来 牛肉の米国への輸出停止措置を解除



ランピースキン病についての最新情報は、
農林水産省HP「ランピースキン病に関する情報」
をチェックしてください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/lsd.html>



これまでの経緯・・・

- 昨年 11月 6日 国内で初めてランピースキン病の発生を確認
- 11月21日 福岡県で同病ワクチン接種を開始 ※下記参照
- 12月19日 米国が同病ワクチン接種を行った都道府県由来の牛肉の輸入を停止

【米国当局に早期の輸入停止措置の解除を求めて協議】

ワクチンのリスク評価終了、輸入停止措置の解除に合意

米国と手続き面での調整を終え次第、ワクチン接種の有無にかかわらず、
すべての都道府県の牛肉について米国向け輸出に必要な輸出検疫証
明書の交付を再開する予定

※ランピースキン病ワクチンについて

アフリカ、欧州、アジア等の発生国でワクチン接種が実施され、清浄化や
発生数の減少が確認されています。

ワクチン接種は発症予防効果があり、ウイルスの排出が抑えられます。
福岡県内では発生農場の半径20km圏内で約19,000頭の牛が接種
対象となり、3月3日現在10市4町で6,653頭の接種が完了しました。

東濃家畜保健衛生所

TEL : 0573-26-1111 (内394) FAX : 0573-25-7669

休日・夜間に連絡する場合は、警備室0573-26-1114 に電話し、
「家畜保健衛生所に緊急連絡が必要」とお伝えください。